

PowerAttendant Standard Edition Linux 版 アップグレード手順書

本書は、PowerAttendant Standard Edition Linux 版(以下、PAS)の旧バージョンから Ver.2.3.0 へのアップグレード方法を説明した手順書です。

新規に Ver.2.3.0 をインストールする場合は、取扱説明書をご参照いただきインストールを行ってください。



お願い

- ・ PAS Ver.2.3.0 では、Microsoft 社が提供している「.NET10.0」を使用します。
本ソフトウェアをインストールする前に、「.NET10.0」を必ずインストールしてください。
「.NET10.0」のインストール方法については、ご使用されている OS の種類により手順が異なります。取扱説明書の「2. ソフトウェアをインストールする」を参照してください。
- ・ PAS Ver.1.1.1 まで使用していた「.NET6.0」については、インストールしたままでも問題ありません。
PAS Ver.2.2.0 まで使用していた「.NET10.0」については、インストールしたままでも問題ありません。



お願い

- ・ アップグレードを行う場合は、必ず旧バージョンをアンインストールしてから、Ver.2.3.0 をインストールしてください。上書きインストールは行わないでください。
※アンインストールを行うことで設定情報が削除されます。アンインストール前に設定情報を控えていただき、Ver.2.3.0 のインストール後に、再設定を行ってください。

1. 設定情報を控えて、管理する

Ver.2.2.0 以降の場合

取扱説明書「18. 設定ファイルをインポート、エクスポートする」で設定ファイルをエクスポートします。

Ver.2.1.2 以前の場合

アップグレード後に設定をもとに戻せるように、現在の設定をメモするなどして忘れないように管理してください。

※取扱説明書「18. 設定ファイルをインポート、エクスポートする」で Ver.2.1.2 以前のエクスポートした設定ファイルは、Ver.2.3.0 でインポートできません。

2. 旧バージョンのアンインストール

ご使用されている OS の種類により手順が異なります。

取扱説明書の「20. ソフトウェアをアンインストールする」の手順に従い、アンインストールを実行してください。

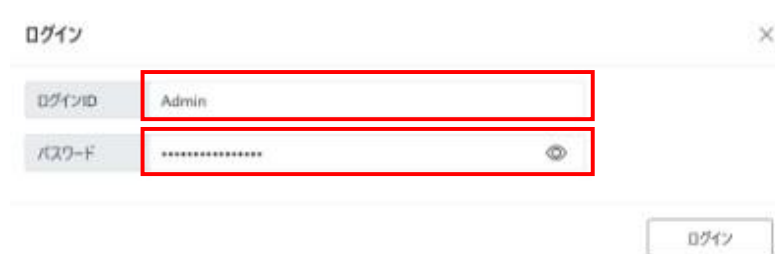
3. Ver.2.3.0 のインストール

ご使用されている OS の種類により手順が異なります。

取扱説明書の「2. ソフトウェアをインストールする」の手順に従い、インストールを実行してください。

4. ログインする

Ver.2.2.0 以降では、PAS の画面を表示させる場合にログインを必要とする仕様に変更されています。アップグレード後に PAS を起動すると、ログイン画面が表示されますので、ログイン ID とパスワードを入力してログインしてください。



5. バージョン情報の確認

PAS の画面の[ヘルプ] - [バージョン情報]にて、バージョンが Ver.2.3.0 になっていることを確認します。



6. 設定情報をもとに戻す

Ver.2.2.0 以降の場合

「1.設定情報を控えて、管理する」でエクスポートした設定ファイルを取扱説明書「18. 設定ファイルをインポート、エクスポートする」でインポートします。

Ver.2.1.2 以前の場合

「1.設定情報を控えて、管理する」で管理していた設定情報をもとに戻してください。

以上で、PAS Ver.2.3.0 へのアップグレード作業は終了です。